

DHU入学式と学位授与式20カ国語スピーチの経緯と背景

The Reason Why CEO Yoshimura Takeshi Give a Speech in 20 Languages

吉村 毅 YOSHIMURA Takeshi

デジタルハリウッド大学 教授 / デジタルハリウッド大学大学院 教授
Digital Hollywood University, Professor / Digital Hollywood
University, Graduate School, Professor

デジタルハリウッド大学の設置会社社長である著者は、2014年に現職に就任した。2015年以降の入学式、学位授与式では多国語でスピーチしている。学位授与式とは一般に小中高校であれば卒業式に該当する行事である。当初は、日本語、韓国語、中国語、英語の4カ国語であったが、その後、年を重ねるごとに言語数が増え、現在までに合計20カ国語でのスピーチをしてきたことになる。グローバルな環境を誇るデジタルハリウッド大学では、毎年、10カ国を超える様々な国籍の留学生が入学、卒業する。入学式、学位授与式時に、すべての留学生の国籍または母語に合わせて言語を選択するため、例年10カ国～15カ国ほどの言語になり、1言語につき1分弱、合計10分ほどのスピーチとなっている。就任10年目の機会に、このような形で、著者が留学生とその保護者の方々にデジタルハリウッド大学としての想いをお伝えしている背景、経緯について記しておきたいと考える。なお著者は言語学の専門家ではないため、言語についての記述は著者の所感であるご理解いただきたい。

1. デジタルハリウッド大学のグローバルな環境と背景

1.1 クリエイティブな発想を生み出す多様性を実現した空間

背景としてデジタルハリウッド大学は学部と大学院ともに学生の約30～35%が留学生であり、現在、在籍している留学生の国籍は約20カ国で、累計では30カ国以上の国々から留学している。例年、入学する留学生の国籍は先に述べたように10～15カ国である。このように世界中から多国籍の留学生が集う大学であるからこそ、多様な文化、思想と触れ合うことでクリエイティブな発想を育むことができていると自負している。

1.2 デジタルハリウッドにおける著者の役割

デジタルハリウッド大学の設置会社社長であるとともに、デジタルハリウッド大学大学院の教員を20年前の開学時から務めさせていただいている。そのため、教員として留学生を長く指導してきた。日本語という学習することが非常に難しい言語と格闘しながら努力している学生たちへ敬意にも似た感情が醸成されてきた。

1.3 グローバルコミュニケーションへの取り組み

デジタルハリウッド大学では、教員自らが率先して、それぞれの講義やゼミ、ラボ、クラブ活動を通じてグローバルなコミュニケーションの場をクリエイティブしている。スタッフもそれをサポートし推進している。具体的には英語クラブのような日本語以外の言語でコミュニケーションするクラブの活動も活発であるが、その多くは、それぞれの講義やゼミ、ラボの中で、異なる環境で生活してきた多様な経験を持つ学生たちが議論し交流することで実現している。

2. 20カ国語スピーチの経緯と背景

2.1 スピーチを始めた契機

デジタルハリウッド大学の入学式と学位授与式では、学長の杉山知之と設置会社社長が祝辞のスピーチを行うのが通例となっていた。私も就任した10年前にセレモニーの事務局からスピーチ依頼を受けた。しかし、学長と設置会社社長のメッセージは類似のメッセージにならざるを得ないので、デジタルハリウッド株式会社のファウンダーであり、デジタルハリウッド大学の建学者である学長の杉山知之がスピーチすることで十分ではないかと思えた。そこで著者は、

別の形で、入学式と学位授与式で学生と保護者の方々への感謝の想いをお伝えする方法を模索した。そこで考え至ったのが多言語でのスピーチだった。



図1:学位授与式 祝辞スピーチ

それには以下の個人的な背景が影響している。著者は、およそ40歳に差し掛かった2000年ごろから韓国語を学び始め、その後2014年から前職であるカルチュア・パブリッシャーズ株式会社^[1]のCEOとして韓国ドラマを輸入するビジネスを社内起業したことから、韓国語のニアネイティブ話者になっていたこと、そして同時期にハリウッド映画の買付と日本ディストリビューションにも携わっていたため、多少なりとも英語でのスピーチ経験があったこと、そして、中国語がかるうじて中級レベルに差し掛かる程度の実力になっていたことから、英語、中国語、韓国語の3カ国語に日本語を加えた4カ国語でスピーチをすることにした。当時は中国からの留学生比率が高く、この3カ国語で留学生の95%はカバーできた。



図2:韓国語スピーチスライド

2.2 ベトナム語とインドネシア語が加わる

著者が設置会社の社長に就任後、多様性に満ちた環境を創造する方策の一環として留学生の多国籍化を推進した。設置会社COOの廻健二郎から、留学生を募集するためにはターゲットとする国のネイティブスタッフが必要であるというアドバイスを受けて、すでに活躍していた中国人スタッフに加え、韓国人、ベトナム人、インドネシア人のスタッフを新たに採用した。

そこで気になったのは、著者が韓国語、中国語、英語だけでスピーチした場合、ベトナム人とインドネシア人スタッフは疎外感を感じるであろうことと、せっかく担当スタッフたちが努力して、入学までしてくれた、それらの国の学生にも寂しい思いをさせることが予想できた。そこで、著者は1年後の入学式に備えてベトナム語とインドネシア語を6カ月ずつ学習した。ベトナム語はインターネットで個人レッスンの教員を探したところ早稲田大学商学部に通うベトナム人留学生と出会うことができた。後にこの留学生がデジタルハリウッド大学の最初のベトナム語WEBサイトのベトナム語翻訳を担当することにもなった。インドネシア語は、飯田橋にある多言語教育で定評のあるスリーエス・エデュケーションに通った。この学校のインドネシア語の担当教員は、デジタルハリウッド大学のインドネシア担当スタッフと日本語学校での友人であったことが分かり、同じ言語を話す人々はつながりがある可能性が高いことを感じた。

まず、ベトナム語には6つもの声調があり、母音数も日本語の倍以上の12個あり、著者にとって、フランス語、モンゴル語と並び発音が最も難しい言語グループに入る。文字は英語のアルファベットを当てていることと、単語の約70%は漢字をオリジナルにしている部分^[2]は著者には多少なりとも学習の救いであった。また、話す人により、かなり発音がことなり、どの発音がスタンダードであるのかが掴みにくかったのも苦労した理由の一つである。この発音の違いはネイティブ同士ならば気にならないのかもしれない。

インドネシア語は、最も易しい言語と言われることが多いものの、それほど甘いものではなかった。理由は、英語型のSVO文法の言語を母語とする人々には、英語にとてに近い文法で、加えて文法的性、つまり単語ごとの性別や複雑な活用、変化のないインドネシア語は、比較的簡単であることは想像できる。しかし、日本人が英語を学ぶことが難しいことと同様、インドネシア語も文法的には日本語とかけ離れており、また、料理名であるナシゴレン以外は耳にしたことがある単語がなく、すべてゼロから暗記していかなければならないことから、話せるようになるには、それ相応の努力が必要な言語である。

2.3 言語から歴史と文化を垣間見る

ベトナム語を学んで、中国がベトナムに与えた影響の大きさを感じ、インドネシア語を学んで、インドネシア人が、国民同士がコミュニケーションするために最も易しい言語体系を選択し普及させたであろう智慧を感じることもできた。インドネシアは多数の島々から構成されている国家であるため、500以上の言語が話されているという

公用語を決める際に、話者人口の多いジャワ語を選択せず、すべての言語の話者への公平を期して、あえて海峽マレー語を選択した経緯をウィキペディアで知り^[3]、その先人たちの英知には頭が下がる思いがした。フィリピンをはじめ多数の島から構成される国家は島ごとに言語が異なることが多いことも分かり、島国ながら方言程度の差異しかない日本語はかなり珍しいのではないかと思うに至った。そしてまた、明治維新以前ならば、異国の言語並みに強い方言であった地方ごとの言語に被せる形での「国語」教育により標準発音を普及させていった明治政府の努力が果たした功績の大きさを認識することとなった。



図3:ベトナム語スピーチスライド

2.3 20カ国語スピーチへの進化

これで英語圏、中国語圏、韓国、ベトナム、インドネシアまでカバーできたのだが、こうしてみると、それらの言語圏以外の留学生が非常に気になってきた。

毎年1人から3人ほどの入学、卒業になるが、言語別に見ても、アジアでは、タイ語、ミャンマー語、モンゴル語、ネパール語、スリランカのシンハラ語、トルコ語。マレーシアはインドネシア語とは異なる言語ではあるが姉妹語としてマレー・インドネシア語として包括させていただいた。そして、レバノン、チュニジアはアラビア語圏。スペイン、中南米のコロンビア、ベネズエラ、アルゼンチン、ペルー、グアテマラ、ドミニカ共和国、コスタリカはスペイン語圏。ヨーロッパでは、フランス語、イタリア語、スウェーデン語、ノルウェー語、フィンランド語、ロシア語、ウクライナ語。英語でカバー可能であったのは、USA、カナダ、イギリスに加え、公用語として使用しているインド、パキスタン。さらに、次なる課題はポルトガル語である。

1人でもその学生や保護者に疎外感を与え、がっかりさせてはならないと思い、そこからは、毎年、事前に卒業する学生の国籍を調べ、約10カ月ですべての対象国の言語を学んだ。入学式は、どの国の学生が入学してくるか分からないため、12月ごろに「○○国の学生が合格した」というニュースが飛び込んできたら、そこから快速特急でその言語を学び始め3カ月後に間に合わせる。1つの国の言語のおおよその文法、文字、発音体系と実際の発音を学んで、スピーチまでできるようになるには、最低でも3カ月を要した。

学習方法はこれまでと同様に多言語教育に対応している飯田橋のスリーエス・エデュケーションや市ヶ谷のパークレーハウス語学センターで各言語3カ月集中の特別にカスタマイズしていただいたカリキュラムで学習することが多かった。パークレーハウス語学センターのシンハラ語の先生はJICA(国際協力機構)でも教えているということを知り、多種類の言語教育がどのようになされているかを垣間見ることができた。

多い年には1年間で4カ国語を学んだ。そのような生活は5年間ほど続いた。生身の人間が短期間でマスターできる言語数は人間の能力として限度があるようで、頭脳のキャパシティの限界を超えて体調にネガティブな影響を来していたことも実感していたが、幸い結果的にはそれは乗り越えることができた。

先に例としてベトナム語とインドネシア語の章で述べたように、それぞれの言語は、それぞれの国の歴史と文化の化身のようなものであった。中でも、ノルウェー語の先生の「ノルウェーは細長い国であり、真ん中に高い山脈が走っている。昔は、その山を越えて反対側には行けなかったため、山の両側の言語は全く別の言語になっている。今は、放送局は両方の言語を公平に取り扱っている」という話が印象に残っている。

また、ロシア語とウクライナ語は約30%がほとんど同じか似ている表現であるため、この2言語を同時にスピーチするときは、途中でロシア語がウクライナ語になってしまっていたり、その逆になったりというリスクが非常に高く、全神経をそこに集中することになる。政治的な記述をする目的は全くないが、この2つの国がどれほど近い関係にあるかを、言語を学ぶことを通じて改めて実感した。



図4:イタリア語スピーチスライド

3. スピーチの内容と意図

スピーチの内容は、基本的なコンセプトはすべての言語について共通である。学位授与式であれば、異国の地での、この4年間、大学院なら2年間の努力を称え、これから日本や各自の母国のみならず世界で活躍する人物になっていただけることを願うことを伝え、入学式の場合も日本にわたるチャレンジ精神に敬意を表し、これからのグローバル人材としての成長を期する気持ちを伝えている。

4. 多言語スピーチの反響

在籍数が少数である国籍の学生からは入学後に声をかけられてお礼を言ってもらえることがある。「まだ見ぬ彼ら彼女らへの想い」でやったことであるので、その本人が目の前に現れて喜んでいる姿を見ると数カ月の苦労が数秒で吹き飛ぶ。入学式はオンラインで配信することが多いので、「ロシアのおばあさんが喜んでた」などと教えてくれることもあり、言語オタク冥利に尽きる。

入学式はデジタルフロンティアという学内作品アワードと同時開催であるため、デジタルハリウッド専門学校やデジタルハリウッド大学の学部や大学院の卒業生クリエイターたちも審査員として参列してくださっている。その中で、毎年、審査員リーダーを務めている大学院1期生で現在、デジタルハリウッド大学の教員でもある浅枝大志^[5]から「この多言語スピーチを行うことで、少数国籍の入学者への敬意を表するだけでなく、『デジタルハリウッドはこれからも公平に大切にします』ということを公に宣言していることになる。それは留学生の保護者に対して、とても大切なメッセージである」と、「DHU夏のオープンキャンパス」のゲストとして語った。浅枝は、瞬時に本質を理解する研ぎ澄まされた感性の持ち主である。さらに浅枝は「その主意を言葉では言わずにパフォーマンスでだけ表現するのがデジタルハリウッドらしさだ」と言ってくれた。そう、杉山が唱えるデジタルハリウッドのスローガン「すべてをエンタテインメントにせよ!!」の実践でもある。

5. 配慮すべき大切なこと

5.1 共用語と公用語は必ずしも一致しない

私は留学生の母語または、留学生が国籍を持つそれぞれの国の公用語、あるいはその姉妹語でスピーチする」とスピーチの冒頭で前置きするようにしている。民族語まで網羅しようとすれば数十の言語が必要となってしまうので、基本は公用語を尊重している。しかし、この公用語の選び方も、国により様々で、それぞれの国の思想を反映していることを学ぶに至った。例としてスリランカをあげれば、スリランカの旧首都コロンボに行った経験から完全な英語圏であると思ってしまう。公用語は英語であろう、と。ところが公用語は民族語のシンハラ語とタミル語で、英語を公用語に選定していなかったのである。実際に使われている言語と公用語は必ずしも同じではない。スリランカの例とは反対に、英語が通常の生活では話されていなくとも、国内に民族語が多数あるため、すべての民族の公用語にする意図で英語を公用語にしている国もある。私は入学式から1カ月ほどたった時期にDHUの英語サークルに参加した。その時、スリランカ人留学生から英語で「スリランカの言葉でスピーチしなかつたでしょ」と言われ、著者は「英語、やりましたよ。英語が公用語ですよ」と返したが、彼は「No, No!」と手を振った。調べてみたところ、私の勝手な先入観によるミスだったと分かったわけである。幸いにして、この学生が卒業する時にはシンハラ語でスピーチができるようになっていた。

5.2 スピーチ時のスライドビジュアルの選択での注意

いくつか図を掲載したが、これらのようにスピーチ時に各言語別にその国を象徴する写真を投影する。ここで気を付けなければならないことは、英語やスペイン語のようにその言語圏が広い場合、どこか特定の1カ国にちなんだビジュアルを使用してしまうと公平性を欠いてしまう。そのため英語でスピーチする場面では、あえて各国の文化と直接関係しないように英語のアルファベットのカリグラフィのような写真を使用している。スペイン語圏の場合には、それぞれの学生の出身国の象徴的な写真をミックスしている。例えばペルーはアルパカであったり、アルゼンチンの代表的な鳥であったり、ドミニカ共和国の民族衣装であったりと、複数国の写真を並列して使用する。中国語についても頭を悩ませているが現時点においてはパンダの写真を使用している。

特にやってはいけないミスは、その各国を象徴する写真が、宗教に関する何かである場合には、すべての国民が同じ宗教とは限らないため、よほど有名で誰もが国の象徴と認める建造物などでない限りは、避けるようにしている。また、建造物や施設などが植民地時代に建築されていたとか、植民地支配のために使われていた何かではないかをチェックすることも必要である。結果的に、風景や動植物が多く使われることになる。



図5:スペイン語スピーチスライド

6. 更なるグローバル化に向けて

著者が行ってきた試みがどの程度、功を奏することができたかは自分では全く分からない。少なくとも著者が、このデジタルハリウッドという、アニメ『僕のヒーローアカデミア』^[6]のように様々な超常能力を持つ多くの教員と学生、そして卒業生たちの中で、何か貢献できることといえば、ささやかながら言語オタク^[7]の「個性」を生かして組織に貢献することであった。ちなみに「個性」とは『僕のヒーローアカデミア』の中では「特技」のように使われている単語である。

これからも微力ではあるが全力で、多様性を自然のごとく無意識に容認しコラボレーションしていくデジタルハリウッド大学のクリエイティブなグローバル文化を推進していく所存である。



図6: DHUスタッフがデザインしてくれた締めのスライド
手のひらに地図が映っている

参考文献

[1] カルチュア・パブリッシャーズ“カルチュア・パブリッシャーズ/
CULTUR PUBLISHERS”

<https://www.culture-pub.jp/> (参照2024年8月8日)

[2] ベトナムニュース総合情報サイトVIETJO [ベトジョー]“越語は
日本語と似てる!?!~単語の7割が漢字に由来~”

<https://www.viet-jo.com/howto/basic/127> (参照 2024年8月
13日)

[3] ウィキペディア “インドネシア語”

[https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%A4%E3%83%B3%
E3%83%89%E3%83%8D%E3%82%B7%E3%82%A2%E
8%AA%9E](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%83%89%E3%83%8D%E3%82%B7%E3%82%A2%E8%AA%9E) (参照 2024年8月13日)

[4] チコちゃんに叱られる.com “なんで日本語じゃなくて国語って
いうの?→日本を一つにするため。明治時代に共通語(標準語)として生
まれた”

<https://xn--h9jua5ezakf0c3qner030b.com/8588.html> (参照
2024年8月13日)

[5] デジタルハリウッド大学 “浅枝 大志 非常勤講師 | 教員紹介 |
学部紹介 | デジタルハリウッド大学”

<https://www.dhw.ac.jp/faculty/teacher/asaeda/> (参照2024年
8月8日)

[6] ウィキペディア “僕のヒーローアカデミア”

[https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%83%95%E3%81%AE%
E3%83%92%E3%83%BC%E3%83%AD%E3%83%BC%E
3%82%A2%E3%82%AB%E3%83%87%E3%83%9F%E3
%82%A2](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%83%95%E3%81%AE%E3%83%92%E3%83%BC%E3%83%AD%E3%83%BC%E3%82%A2%E3%82%AB%E3%83%87%E3%83%9F%E3%82%A2) (参照 2024年8月8日)

[7] メディアサイエンス研究所 “DHU JOURNAL Vol.07 2020
母語別日本語教育の可能性と必要性”

[https://msl.dhw.ac.jp/wp-content/uploads/2020/11/
DHUJOURNAL2020_P127.pdf](https://msl.dhw.ac.jp/wp-content/uploads/2020/11/DHUJOURNAL2020_P127.pdf)